

1 試斬科目

① 据物試斬（5—①参照）

試斬体 1 本立て

評価基準：正眼の構えから、二足一刀、斬り口 $40^{\circ} \sim 45^{\circ}$

斬り幅均等、足運び（前に出て斬ること）

(1) 各部規定の形で、試斬を行います。

（参加人数によっては、2 会場でおこないます）

(2) トーナメント形式で、一人ずつ試斬を行います。

（2 会場の場合は二人ずつ試斬）

② 自由試斬（5—②参照）

実戦を想定した試斬で、試斬体を一人～多人数の敵に見立てて試斬します。

評価基準変更は詳細参照

各部定められた人数の敵を、敵一体に対し、一～三太刀で倒すよう試斬します。規定形なし（自由）

(1) 点数形式で、一人ずつ試斬を行います。

③ 団体戦（5—③参照）

試斬体 1 本立てを、三人一組で順に斬っていき、優劣を競います。

(1) 先鋒・中堅・大将の順に、規定の形で試斬を行います。

(2) トーナメント形式で、二組ずつ試斬を行います。

(3) 今大会から、時間的なことがございますので、先鋒中堅が勝利した場合は、大将戦は行わないことにします。

2 賞

①、②、にそれぞれ 優 勝 （各 1 名）

準優勝 （ " ）

三 位 （ " ）

敢 闘 （該当者）

努 力 （ " ）

④ 優 勝 （1 チーム） 準優勝 （ " ） 三 位 （ " ）

3 試斬にあたっての注意

① 据物試斬演武中に無意味な型を入れない（減点）

② 据物試斬で太刀筋を違えた場合（失格）

③ 全て攻め技で下がり技は大巾減点

次に共通する失格、減点対象項目

【失 格】

① 床斬り ② 芯斬り ③ 台倒し ④ 刀飛ばし

【減 点】

① まくり ② シャクリ ③ 山残し ④ ツリ下がり ⑤ 死太刀

⑥ 斬れず ⑦ 台ゆれ ⑧ 納刀時の引き落とし ⑨ 失礼 ⑩ 無礼

4 試斬体

1部、2部、3部とも 畳表1枚巻1本立て (男子、1部女子)

2部女子 畳表0.75畳

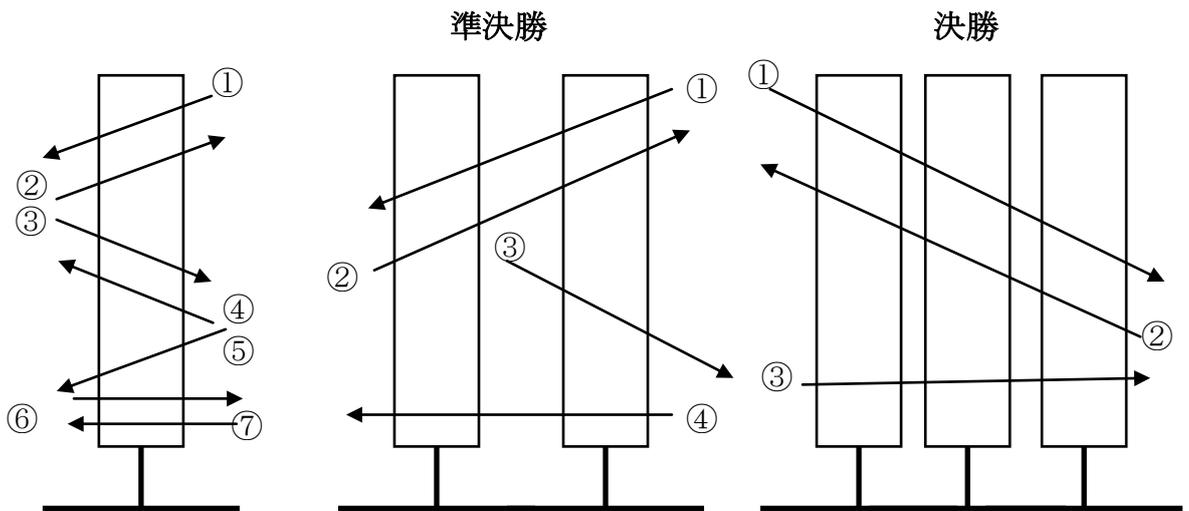
75歳以上、3部女子、中学生以下 畳表半畳

5 演武

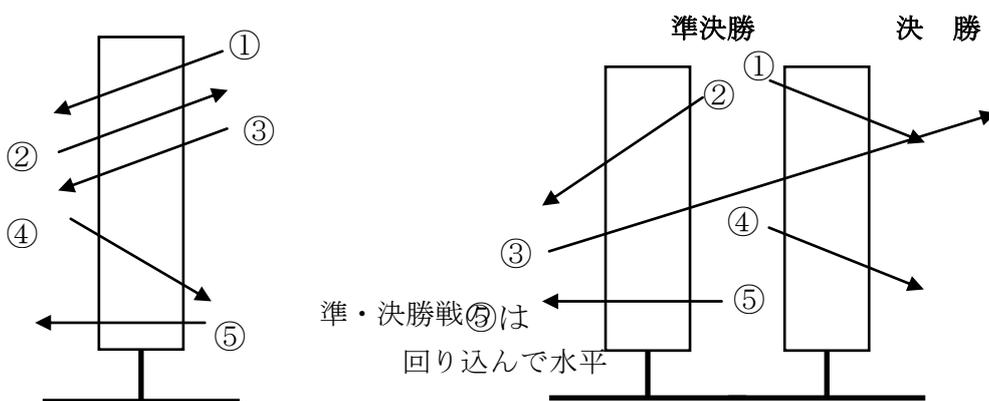
① 据物試斬 規定の形

帯刀して入場し、立礼、間合を詰めて抜刀して、斬り始めます。
血振り納刀は自由です。

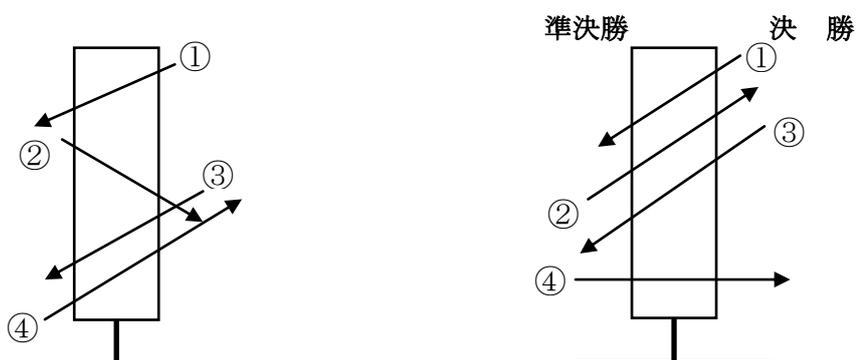
1部 (四段以上) (右 左から斬り始め可)



2部 (初~参段) (右 左から斬り始め可) 女子は0.75巻



3部 (無段) (右 左から斬り始め可) 女子0.5巻



自由試斬

試斬体 1 本を 1 人の敵として試斬します。

試斬体の配置、形の規定はありませんが、全ての敵に（3 太刀まで）

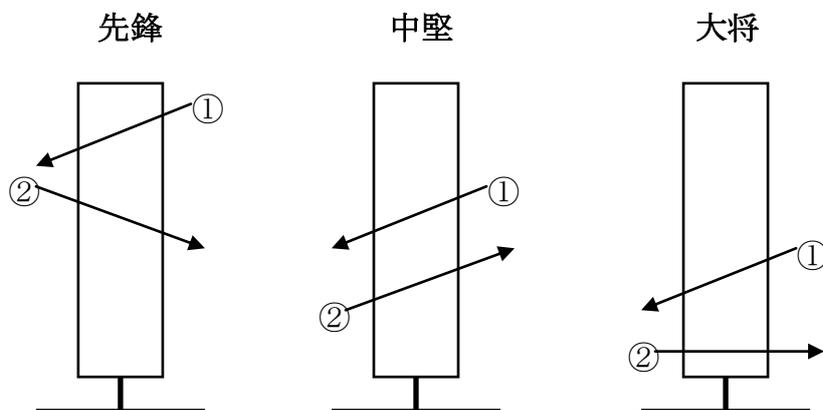
気を配る立ち回りを良しとします。

- (ア) 3 人敵を想定し、自由に試斬してください。
- (イ) 2 人敵を想定し、自由に試斬してください。
- (ウ) 1 人敵を想定し、自由に試斬してください。氏

☆評価基準：試斬の技量において敵 1 人（巻き藁 1 本）ずつで評価します。以前は 1 本の藁を斬り損じた場合は、技量は 0 点または失格と評価していましたが、3 部を除きそれぞれ各本数の点数が加算されるようにします。初発刀で失敗しても残りの敵（藁）で挽回し点数が上げられるように変更します。

また、当連盟は気合、理合に重きを置きます。実際に敵と遭遇した場合と考え理合に合った試斬を行ってください。技量において失格は儲けません。

③ 団体戦（左袈裟から斬り始め、右袈裟からは不可）



※演武者が演武中は、他の者は所定の位置にて控え、私語、笑いは禁止とし、次の者は、後ろで正座し待機のこと。

6 注意事項

- ① 刀の銃砲刀剣類登録証は必ず持参し（コピー不可）、各自厳重に保管してください。
- ② 刀や貴重品は、各自で保管してください。
- ③ 試合中の負傷については、大会本部で応急処置をしますが、以後の自己責任でお願いします。

7 駐車券について

お車でお越しになる剣士の皆様には一日駐車券を一台につき 200 円のご負担をお願い致します。駐車場所は、駐車券と後日送付いたします。

お車の台数を、代表の先生に取りまとめていただき大会お申し込みの際、会費と駐車場代を合わせてご入金をお願い致します。